

抗体評価用のELISA構築・測定キット（新型）

Easy ELISA Constructor Multi (ab)

抗体の抗原に対する結合活性を測定するELISA系を迅速に構築し、迅速・高感度に測定できます。
新開発のMAD IIにより、殆どの動物種で利用できます。

動物に抗原を投与して抗体が出来ているかを調べるには、抗原に対する抗血清の結合活性を確認する必要があります。

本キットは世界初のMAD(Multi-Antibody Detection)IIを抗体結合プローブとして用いることで、抗体価測定用ELISAを簡単に構築し、結合活性を迅速・高感度に測定することができます。準備するものは抗原だけです。詳しい説明書が付いているので、初めての方でも容易にELISAの構築と測定ができ、抗体価を求め、陽性コントロール抗体との比較にて抗体利用時の希釈率の目安を知ることが出来ます。



- 特長**
1. 抗血清や抗体の抗原に対する結合活性を測定するELISAを容易に構築可能
 2. 従来品より広い動物種で利用可能で、実質的に全動物種のIgG検出に利用可能*
 3. 構築したELISAは90分間の迅速測定が可能で、高感度
 4. 構築に必要な物は免疫した抗原だけ
 5. 付属の陽性抗原・抗体との比較で抗体の利用濃度の目安が分かる
 6. 抗体を利用した抗体検出型ELISAの感度上昇にも利用可能
 7. HRP標識検出抗体との併用で更に高感度化が可能

*:マウス、ラット、ウサギ、モルモット、ヤギ、ウマ、ロバ、ブタ、ウシ、ヒツジ、イヌ、ネコ、サル、ヒトのIgGの検出が可能です。

【キット構成】 測定に必要な試薬が全て揃っております（詳細は裏面をご覧ください。）

【製品種類】

製品番号	品名	内容
BCL-EECM-01	Easy ELISA constructor Multi (ab)	1 kit (96×2 tests)
BCL-EZE01	マウス増感試薬	2プレート分以上
BCL-EZR01	ラット増感試薬	2プレート分以上

マウス、ラット増感試薬はより強いシグナルが必要な場合にご利用ください。

【関連製品】

製品番号	製品名	内容量
BCL-TMB-01	TMB溶液(1液型)	250mL
BCL-TMB-21	TMB溶液(2液型)	各 250mL
BCL-PIK-01	ペプチド固相化キット	1キット(3回分)

固相化が難しい短いペプチドについてはペプチド抗原固相化キットを併用下さい。

【製造・販売】

株式会社ビークル

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町14-1

TEL: 075-762-5055、FAX: 075-762-3055

website: www.beacle.com

E-mail: information@beacle.com

【販売】

販売店名が記載されていない場合は、(株)ビークルに直接ご注文いただくか、普段お使いの販売店にお問い合わせください。

【測定原理】

固相化した抗原に結合した抗血清(抗体)を、当社独自のMADⅡ(新開発の抗体検出プローブ)を利用して検出する方式です。通常の2次抗体で検出するよりも迅速、高感度で検出することが可能です。

【利用方法と測定時間】

利用方法1: 結合活性が未知の抗血清(抗体)を評価する場合

ステップ①: 抗原固相化プレートを用いてELISA構築の条件検討(陽性コントロールと比較しながら条件設定)
(固相化抗原濃度等の事前情報がある場合は本ステップは省略可能)

ステップ②: サンプルの測定と評価 (設定した条件下でサンプルの評価を行います)

所要時間:

迅速法 (通常法よりも感度は落ちます。時間があれば通常法を利用ください)

①抗原固相化:20分間 ⇒ ②ブロッキング:15分間 ⇒ ③抗血清(抗体)と固相化抗原との反応: 20分間 ⇒
④MADⅡとの反応:20分間 ⇒ ⑤発色反応:15分 ⇒ ⑥測定 **計:90分間***

通常法

①抗原固相化:60分間 ⇒ ②ブロッキング:60分間 ⇒ ③抗血清(抗体)と固相化抗原との反応: 60分間 ⇒
④MADⅡとの反応:60分間 ⇒ ⑤発色反応:30分 ⇒ ⑥測定 **計:250分間***

*測定時間にはサンプル調整、洗浄、測定等は含みません。サンプル数や抗原によって必要時間は異なります。

利用方法2: 抗体検出型ELISAの感度を向上させたい場合

固相化抗原に結合した抗体を2次抗体を利用して検出するタイプの抗体検出型ELISAでは本キットのMADⅡとMAD反応バッファーを利用することで感度を上昇させることができます。2次抗体の代わりにMADⅡを利用する、又は2次抗体にMADⅡを併用すると大幅に感度が上がります。詳しくは製品マニュアルをご覧ください。

【キット構成】

MADⅡ 試薬(HRP標識)	1 本	発色試薬(2液性)	2 本
抗原固相化バッファー	1 本	3倍濃縮ブロッキング溶液	1 本
20倍濃縮洗浄バッファー	1 本	発色反応停止液	1 本
MAD反応バッファー	1 本	96wellマイクロプレート(ストリップ型)	2 枚
陽性抗原(凍結乾燥品)	1 本	陽性抗体	1 本
取扱説明書	1 冊		

構成は予告なく変更する場合があります。

キット付属の陽性抗体は1/1000~1/10000希釈でウェスタンやELISAで使用可能です。

【実験例】

●IgGの評価 (サンプル:マウス抗HMG血清)

ステップ① ELISA構築の条件検討

固相化抗原濃度、サンプル抗血清の希釈倍率の検討を陽性コントロールとの比較で行い、以下を確認。

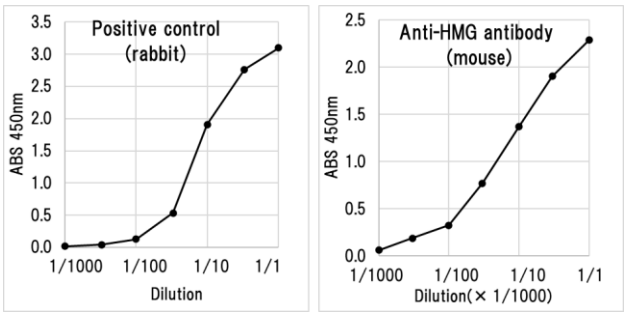
- ・陽性コントロールが正常に測定できるか?
- ・サンプルの固相化抗原濃度と希釈倍率

固相化抗原濃度と希釈倍率の目安は、陽性コントロールと類似の濃度反応曲線が描けること。

ステップ② サンプルと陽性コントロールとの比較

ステップ①で確認したELISA条件にて、陽性コントロールと共に、ステップ①より細かい希釈濃度で用量反応曲線を描いた。結果を上図の示す。

- ・ サンプル抗血清は、陽性コントロールと比較した場合、約1000倍に希釈しても高い抗体価を示した。
- ・ 測定した血清の利用の目安
- ・ 陽性コントロール抗体の比較から判断すると、本抗血清はELISAやウェスタンで1/1000~10000倍程度の希釈で、利用可能と思われた。



使用方法の詳細はキットの取扱説明書をご覧ください。
実際の実験例は当社HPからダウンロードすることができます。